

研修目的

臨床医として必要とされる代謝疾患の診断・治療スキルを習得し、代謝疾患の適切な診断や基本的治療を自ら行えるようになる。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・糖尿病の病態生理を正しく理解し、適切な診断と基本的な治療を自ら実践できる。

B. 資質・能力

・コメディカルスタッフと協力してチーム医療を実践し、糖尿病患者と良好な患者 - 医師関係を構築することができる。

C. 基本的診療業務

・糖尿病患者の問診（病歴聴取）や身体診察、検査および治療計画ができる。
・インスリンの導入および用量調整ができる。
・退院サマリーを作成できる。
・カンファレンスで症例呈示を行える。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・患者の価値観、負担に配慮した、社会資源の利用などのサポート計画を立案できる。

B. 資質・能力

・持続グルコースモニター（CGM：Continuous Glucose Monitor）を使用した血糖モニターを実践する。
・インスリンポンプ療法（CSII：Continuous Subcutaneous Insulin Infusion）を使用したインスリン治療を学ぶ。
・糖尿病急性合併症（高血糖高浸透圧症候群、糖尿病ケトアシドーシス、乳酸アシドーシス、低血糖昏睡など）の病態を理解し、診断の鑑別を行い、治療方針の立案、実行ができる。
・興味がある症例があれば学会発表や英語論文作成を行う。

C. 基本的診療業務

・他科に入院中の糖尿病患者に対する血糖管理（とくに周術期）を理解し、各科と連携しながら血糖管理を行う。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

・指導医のもと、糖尿病教育入院、血糖コントロール目的、合併症診断治療目的、高血糖の緊急入院などの入院患者の担当医となり、診断・治療を行う。

- ・週1回の総回診と症例カンファレンスを行い、新入院患者のプレゼンを担当する。指導医から診療内容の助言を受ける。
- ・必要に応じて、コメディカルスタッフ（看護師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど）とのカンファレンスを行い、情報を共有しながら糖尿病患者教育を立案・実行する。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:00-15:00 午後回診 15:00-16:00 糖尿病教室	15:00-17:15 病棟診療
火	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:30-16:00 症例カンファレンス、総回診	16:00-17:15 医局会、抄読会
水	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:00-15:00 午後回診 随時：栄養指導	15:00-17:15 病棟診療
木	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:00-15:00 午後回診 随時：療養指導	15:00-17:15 病棟診療
金	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:00-15:00 午後回診 随時：他科往診	15:00-17:15 病棟診療

指導責任者および指導医

指導責任者：澤田正二郎

指導医：丹治泰裕、宗像祐一郎、渡辺太一、氏家啓太、大古奈津子、板坂卓穂、藤谷拓、赤井裕輝（若林）、平井敏（若林）

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作製、プレゼンテーションなどの指導を行う。